まるごと美術館2021年秋× 妙蓮寺 特別拝観企画

2020年の変容した繋と失われた季節

KYOTO MARUGOTO MUSEUM

performance exhibition in 妙蓮寺

パフォーマンスの展覧会

妙蓮寺の文化資産「四季の襖絵」の
前で行うパフォーマンスの展覧会
オンラインとオフラインの融合の
可能性を思索する展覧会です

※期間中妙蓮寺には作品の展示はございません。

photo / 妙蓮寺椿（妙蓮寺に咲く固有の椿）

京都市上京区妙蓮寺前町875
京都市バス
９番 「堀川寺之内」より ---- 徒歩２分
地下鉄
「今出川」駅下車 -------- 徒歩１６分

11/23 火曜・祝

バレエ×舞踏

START 1. 16:30-
2. 18:15-

稲尾 光子（バレエ振付）
桂 勘（舞踏）
重倉 恵子（バレエ）/ 西岡 美和（バレエ）/ 杜 昱枋（舞踏）/ 楢原 季里子（バレエ）/ 中路 衿佳（バレエ）/ 二万 智穏（バレエ）
クリストファー・フライマン（作曲家/サウンドアート/トランペット）
ウィリアム・プランクル（チェロ）

11/27 土曜

お寺×焚き火

OPEN 17:30-

昌子 久晃（at Temple / 久柳）
橋本 由嗣（焚き火Lab）

11/28 日曜

いけばな×花文字

START 17:30-

石川 利佳甫（嵯峨御流総司所教授）
楊海峰（彫刻家 / 花鳥文字）

12/4 土曜

朗読×音楽×お香

START 18:15-

佐野 真希子（グラスマーケッツ）
トタニ ハジメ（ベース）
池田 長十（脚本 / 小説家）

12/5 日曜

地域×編集

OPEN 17:30-

後藤 繁雄（編集者 / 京都造形芸大教授）
佐野 充照（町家倶楽部ネットワーク代表）

本展はパフォーマンスのみですので、毎日開催しているわけではございません。11/23（2回公演）、27、28、12/4、12/5のみです。お寺は通常拝観可能です。

会場
大本山 妙蓮寺
京都市上京区妙蓮寺前町875

ボランティア募集中

まるごと美術館
KYOTO MARUGOTO MUSEUM

主催 まるごと美術館実行委員会 / 大本山 妙蓮寺
協力 Room488/ムクヨミドリ/Tradi inc./山科旅感/NPO ANEWALGallery/KOTOKURAS
広報協力 Tradi inc./山科旅感/KOTOKURAS/株式会社 山田松香木店

企画へのお問い合わせ
☎ 050-5372-4935（担当 / 中川）
✉ marugotobijutsukan@gmail.com
※本展は「西陣を中心とした地域活性化ビジョン」の一環です

申込特設サイト
本展への参加は事前登録が必要です。11/27、12/5は申込不要。
https://510kuras.jp/performance/ceremonies/

パフォーマンスは全て妙蓮寺で行われます

peformance

2020年の変容した祭と失われた季節

statement

2020年から続いているコロナウイルスによる社会の変容は、まるごと美術館の会場となっているお寺や神社にも影響を及ぼしています。法要への参列がなくなったり、例祭で神輿を担いで町を練り歩く姿が見えなくなるなど。そこには儀式、祭りというものの意味だけが残り、見知らぬ隣人と楽しさを共有する、地域コミュニティの新たな魅力に気づく、などの副機能が失われたように感じます。副機能のひとつに、季節を情緒的に捉える、ということが挙げられると思います。「祇園祭が終わったら梅雨が明ける」「秋の祭が終わると本格的な冬がくる」などはその例です。季節の変わり目や訪れを知らせる副機能としての祭りは、メディアで手に入れる気温などの正確なデータに基づく季節感ではなく、感覚の暦として情緒と結びつき、季節と共に暮らしを営んでいた日本人の美意識にも作用していたと思うのです。

本展では、副機能としての祭と、儀式の象徴としてのパフォーマンスに注目し、季節が描かれた「四季の襖絵」と表現芸術のコラボを通して、四季を豊かに受容する日本人の美意識のあり方を思索します。

中川 直幸（キュレーター）

MYORENJI

11 火曜・祝 2回公演です 要予約

拝観料 2300円

開場 — OPEN ① 16:00 ② 17:45

開演 — START ① 16:30 ② 18:15

TITLE

side『四季の妙』 side『筆屋の娘』

『筆屋の娘は』YouTubeのみの作品で、後で視聴可能ですが、『四季の妙』は配信・アーカイブされない、実会場のみで鑑賞できる作品です。

CONTENTS

季節を巡る舞『四季の妙』、妙蓮寺の鐘楼にまつわる物語から着想したオリジナルストーリーの『筆屋の娘』を身体の美しさで表現します。本公演は 2 つの演目をリアル会場とライブ配信で同時上演します。2 つの演目は単独で楽しめますが、実会場で観賞後、YouTube のアーカイブを鑑賞することで意味が理解できる仕掛けがございます。『四季の妙』は動画視聴はできません。

PERFORMER

稲尾 光子（バレエ振付）/ 桂 勘（舞踏）
重倉 恵子（バレエ）/ 西岡 美和（バレエ）/
杜 昱枋（舞踏）/ 檜原 季里子（バレエ）/
中路 衿佳（バレエ）/ 二万 智穏（バレエ）
クリストファー・フライマン
（作曲家 / サウンドアート / トランペット）
ウィリアム・プランクル（チェロ）

TALK

バレエと舞踏の楽屋トーク

19:00-20:00 +

アーティストトークほど固くなく、ゆったりと作品とその周辺についてトークをします。公演後の楽屋に遊びにきた感覚でご参加ください。

MYORENJI

11 土曜 予約優先

拝観料 800円

開始 — OPEN 17:30

トーク — START 19:00 +

TITLE

『何も考えない時間』

CONTENTS

お寺の本来の機能を再度見つめ直す［at Temple］と、まちなかでの焚き火の可能性を思索する［焚き火 Lab］の共同ワークショップ。
脳内情報を整理して、気分をリフレッシュするには、ぼうっとする時間が必要だそう。焚き火は、まさにうってつけで、キャンプで焚き火が流行っているのも、ぼうっとしてリフレッシュできるからかもしれません。
ただ、都市空間では焚き火ができないので、代替として「ろうそくの灯」と「お香の煙」、「宇宙線の灯り」と「幻想的な石庭」を用意します。
とにかくぼうっとして、時には隣の人としゃべりながら、好きに空間を過ごしてください。
19 時より各プロジェクトの代表によるトークセッションがあります。（自由参加）

PERFORMER

昌子 久晃（at Temple / 久柳）
橋本 由嗣（焚き火Lab）

TALK

高垣 徹（エンジニア/アーティスト）
株式会社 山田松香木堂（お香）

MYORENJI

11 日曜 要予約

拝観料 2000円

開場 — OPEN 17:30

開始 — START 18:20 +

トーク — START 19:00 +

TITLE

『flower symphony』

CONTENTS

日本の伝統芸術「いけばな」と、中国の伝統芸術「花文字」のコラボパフォーマンス。
ふたつの伝統芸術と文化を、「思い」を融合できるか、という問いをキーワードに、視覚と聴覚によるオーバーラップを試みます。
いけばなのパフォーマンスでは、参加者も作品の一部を構成する参加型の作品を制作します。参加される場合は 17:30 から 18:00 の間に来場ください。
季節の花が描かれた四季の襖絵を背景に「花」を使ったふたつの伝統芸術文化が交差する瞬間にお立ち合いください。

PERFORMER

石川 利佳甫（嵯峨御流総司所教授）
楊 海峰（金属立体造形/花文字作家）

TALK

いけばなと花文字の楽屋トーク

19:00-20:00 +

アーティストトークほど固くなく、ゆったりと作品とその周辺についてトークをします。公演後の楽屋に遊びにきた感覚でご参加ください。

MYORENJI

12 土曜 要予約

拝観料 2000円

開場 — OPEN 17:30

開始 — START 18:20 +

トーク — START 19:00 +

TITLE

『白影（ハクエイ）』

CONTENTS

声と音の融合をコンセプトに、京都で結成された朗読ユニット グラスマーケッツ。その代表を務める佐野真希子による朗読をお楽しみください。物語は、小説家である池田久輝（第5回角川春樹小説賞受賞作家）のオリジナル書き下ろし短編。
アンビエントなフレットレスベースの音色が響く中、すっと立ちのぼっていくお香の香り。「声と音と香」が漂い、共鳴しあった空間に生まれる一つの幻――そんな朗読の世界に迷い込んでください。

PERFORMER

佐野 真希子（朗読家/グラスマーケッツ）
池田 久輝（小説家/脚本家/グラスマーケッツ）
トタニ ハジメ（フレットレスベース）

TALK

朗読の楽屋トーク

19:00-20:00 +

アーティストトークほど固くなく、ゆったりと作品とその周辺についてトークをします。公演後の楽屋に遊びにきた感覚でご参加ください。

COLLABORATOR

株式会社 山田松香木堂（お香）

MYORENJI

12 日曜 予約優先

拝観料 800円

開始 — OPEN 17:30

トーク — START 19:00 +

TITLE

17:30-『何も考えない時間』
19:00-『地域資源との付き合い方』

CONTENTS

幻想的にライトダウンされた石庭、ろうそくとお香、宇宙線の微かな揺らぎが幻想的に演出するお寺の空間をお楽しみください。19 時からは、地域のお寺や神社と協力し、文化財と共演する展覧会を開催しているまるごと美術館運営メンバーと、1995 年から町家の活用などを行なってきた地域活動の先輩にあたる現・町家倶楽部ネットワーク代表の佐野充照氏、京都に存在する地域文化資源の活用可能性をアカデミックな視点から探る編集者後藤繁雄氏とのトークイベントを行います。
地域の文化資源の可能性を探る 2021 年のまるごと美術館のクロージングトークです。

PERFORMER

後藤 繁雄（編集者/京都芸術大学教授）
佐野 充照（町家倶楽部ネットワーク）
※後藤繁雄のコーディネートは琴浦 香代子

TALK

まるごとの楽屋トーク

19:00-20:00 +

COLLABORATOR

高垣 徹（エンジニア/アーティスト）
株式会社 山田松香木堂（お香）

※アイコンの説明　+ ･･･ 実会場のみで鑑賞可能　+ ･･･ 実会場とライブ配信で鑑賞可能

special thanks

配信に協力してくださった方に感謝します

KOTOKURAS / ムクヨミドリ / 山科旅感 / Tradi inc. / 森島 善則 / ウエノ アキヒト / 琴浦 香代子 / Mariko Yasukuni

展覧会の鑑賞方法

特設サイトを参照ください

①上記日程で、妙蓮寺会場にてパフォーマンスを行いますので、ご来場ください。特設サイトからご予約ください。
②YouTube での生配信も行いますので、YouTube でご覧いただくことも可能です。
※この展覧会はオフラインとオンラインの融合の可能性を探っており、実際に会場でご覧になられてから、配信のアーカイブ映像を見ることで意味が理解できる演出などを試みております。配信だけを視聴しても意図が伝わりにくい演出もございます。ご了承ください。演目が変更になる場合はご連絡します。

申込特設サイト

本展への参加は事前登録が必要です。
11/27、12/5は申込不要。

2020 年の変容した祭と失われた季節　検索

https://510kuras.jp/performance/ceremonies/